

彙報

本会記事

西南アジア研究会総会

2004年度総会は、先の会告のごとく、2004年12月18日午後2時から、京都大学文学研究科・文学部新館会議室において開催された。

間野英二会長の開会の挨拶に続いて、徳永宗雄氏を議長に選出し、議事に入った。まず久保一之委員から、会誌発行状況、会員数、会計等の会務についての報告が行われ、ついで、会計業務について、総会開催以前に堀川徹監事（当日は欠席）の監査を受け承認されている旨報告された。その後、近年の会費納入状況をふまえて、会員の負担軽減等について話し合われた。その結果、2005年度（会誌第63-64号）より、一般会員の年会費を現行の6,000円から5,000円に、学生会員の年会費を4,000円から3,000円に改めることが決定された。

総会議事の後、東北大学大学院国際文化研究科助教授黒田卓氏に「ヘイダル・ハーンと近代イラン —— 最近の研究動向から ——」と題してご講演いただき、最後に前川和也副会長の閉会の挨拶をもって終了した。

会費納入のお願い

本誌第61号発送時に2004年度会費（第61-62号相当分）および滞納金をご請求申し上げたところ、多くの方からご協力が得られました。誠に有難く存じ上げます。

しかしながら、いまだご入金いただいていない会員の方も、少なくありません。第61号発送時にご通知した、会費納入状況をご確認の上、早々にお支払いいただけるようお願い申し上げます。

ご投稿のお願い

より充実した誌面をお届けできますよう、会員の皆様の活発なご投稿をお待ち申し上げます。論文、研究ノートや書評に限らず、研究動向・学界動向その他、有益な各種情報もお寄せ下さいますようお願い申し上げます。投稿規定は本誌第61号末尾に掲載しておりますので、原稿作成の際ご参照下さるようお願い致します。